



RYODEN

第83期 中間株主通信

2022年4月1日 ▶ 2022年9月30日

菱電商事株式会社は、2023年4月1日に
「株式会社RYODEN」に商号を変更します。



菱電商事株式会社
<https://www.ryoden.co.jp>

証券コード：8084

第2四半期としては過去最高を達成
代理店、商社の枠を超えた事業創出会社として、
引き続き新たな価値の創造を目指していきます。

取締役社長

富澤 克行



株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。ここに当社グループ第83期の中間株主通信をお届けするに当たりご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、長期化するウクライナ紛争の影響により食料やエネルギー価格高騰の勢いが衰えず、米欧やアジアなど新興国の中央銀行は、インフレ抑制のため夏場にかけて一段と金融引き締めの姿勢を強めました。また、金利の急上昇が景気後退につながるとの懸念から9月末にかけて世界的な株安が進みました。

国内経済においては、夏場に全国的なコロナ感染再拡大（第7波）がありましたが、行動制限が課されなかったことで過去の感染拡大局面のようなサービス消費の落ち込みが回避されました。一方、エネルギー価格の上昇や日米金利差の拡大を受けた円安による物価上昇圧力の高まりが消費者マインドを悪化させ、実質購買力の低下により消費回復が抑制されました。

当社グループの取引に関する業界は、自動車生産は半導体不足や中国ロックダウンの影響が尾を引き、メーカーごとにばらつきが出ました。電子部品・半導体は、スマホやパソコンなどのデジタル需要は陰りを見せ始めましたが、自動車や産業機器向けなどに逼迫感が続きまし

た。また、産業・工作機械は、自動化、省人化設備の需要が好調に推移しました。

このような状況下、当社グループの中期経営計画「ICHIGAN 2024」は中間年度となる3年目を迎え、代理店、商社の枠を超えた事業創出会社として、新たな価値の創造を目指しています。

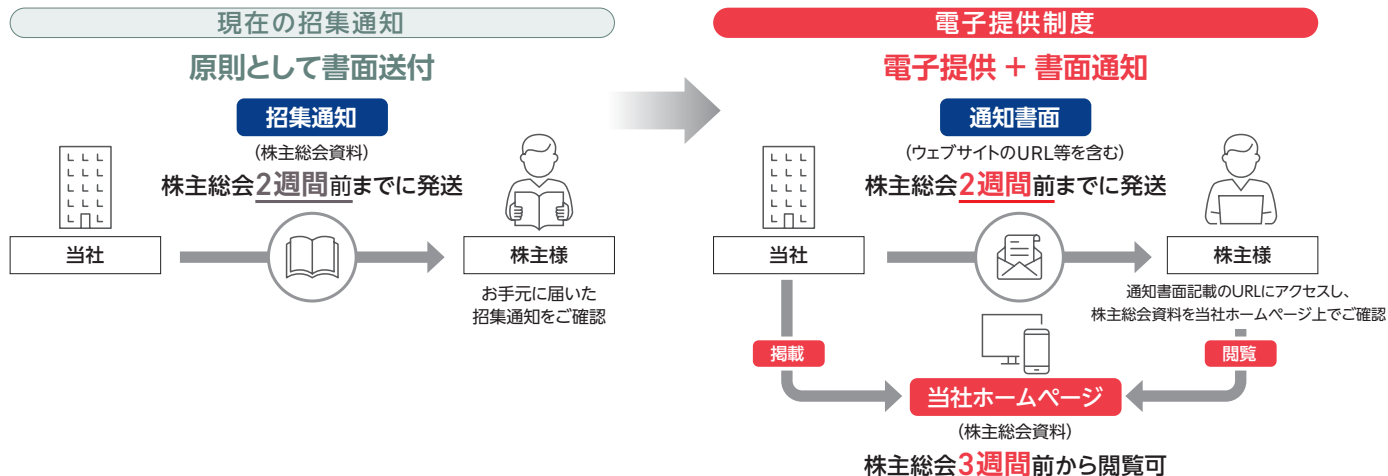
その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高1,270億33百万円（前年同期比18.4%増）、営業利益47億65百万円（前年同期比71.9%増）、経常利益47億14百万円（前年同期比66.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益31億70百万円（前年同期比67.7%増）となり、売上高・各段階利益いずれも第2四半期として過去最高となりました。

第83期の連結業績の見通しにつきましては、連結売上高2,490億円、営業利益79億円、経常利益78億円、親会社株主に帰属する当期純利益53億円を予定しております。

なお、当期の剰余金の配当（中間配当）につきましては、10月28日の公表どおり、1株当たり33円といたしました（年間では66円を予定）。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株主総会資料の電子提供制度のご案内



■ 電子提供制度について

株主総会資料の電子提供制度(以下「電子提供制度」といいます)とは、株主総会資料を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載し、株主の皆様に対し当該ウェブサイトのアドレス等を書面で通知する方法により、株主総会資料を提供することができる制度です。

「会社法の一部を改正する法律」が2022年9月1日に施行され、当社では、2023年の株主総会から電子提供制度が適用されることとなります。本年6月の株主総会では電子提供制度の導入に備えるため、当社定款の変更に関する議案につき、株主の皆様にご承認いただきました。

電子提供制度では、株主の皆様のお手元にはこれまでお送りしていた「定時株主総会招集ご通知」の一部のみをお届けし、全体についてはウェブサイトにご確認いただくことが原則となります。

■ 書面交付請求について

電子提供制度の導入後も書面による株主総会資料を希望される株主様につきましては、書面交付請求を2023年3月31日までに完了する必要がありますので、お早目にお手続きをお願いいたします。お手続きの方法につきましては、三菱UFJ信託銀行(株主名簿管理人)へお問い合わせください。また、証券会社でもお手続きが可能なため、ご希望の場合は口座を開設されている証券会社へお問い合わせください。

※議決権行使書面はこれまでどおりお送りいたしますので、書面交付請求のお手続きをいただく必要はございません。

※書面交付請求いただける株主様は、2023年3月31日時点の株主名簿において100株以上(単元株以上)を保有している株主様となります。

電子提供制度・書面交付請求に関するお問合せ先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(受付時間: 土・日・祝日を除く 平日9:00~17:00)

電子提供制度専用ダイヤル 0120-696-505
<https://www.tr.mufg.jp/daikou/denshi.html>



事業別の状況

FAシステム

売上高

223億76百万円
(前期比 9.1%増)

営業利益

6億91百万円
(前期比 4.7%増)

売上高
構成比
17.6%

半導体や材料不足、原材料の価格高騰などサプライチェーンの混乱が続きましたが、半導体製造装置や工作機械をはじめとする装置メーカー向けACサーボ・CNC等の需要が好調に推移し、また自動車関連や電気電子関連を中心とした製造業の設備投資案件も堅調に推移しました。



三菱電機(株)製協働ロボット
(MELFA ASSISTA)



三菱電機(株)製シーケンサ

X-Tech (クロステック)

売上高

27億59百万円
(前期比 29.6%増)

営業損失

△97百万円
(前期比 33.7%減)

売上高
構成比
2.2%

ヘルスケア分野では、病院内のITシステムを一つのパッケージとして提供するトータルパックITのサービスが好調に推移しました。ICT分野では、IT関連機器の販売が堅調に推移し、また当社オリジナルソリューションであるビデオマネジメントシステム：FlaRevo（フラレボ）の販売が好調に推移しました。スマートアグリ分野では、2022年5月に竣工した次世代型植物工場「Block FARM」において、閉鎖型人工光植物工場として世界初となるほうれん草の量産化に引き続き取り組んでおります。



ビデオカメラソリューション
[FlaRevo]



ほうれん草の栽培イメージ

冷熱ビルシステム

売上高

123億70百万円
(前期比 3.1%減)

営業利益

3億62百万円
(前期比 40.4%減)

売上高
構成比
9.7%

冷熱分野は、猛暑やサービス業の景況回復に伴い、ルームエアコン、店舗用エアコン等の販売が下支えしたものの、ビル空調設備案件の低迷、低温機器の納期長期化などの影響を受け、低調に推移しました。ビルシステム分野は、昇降機等の受注済の工事事案件が順調に完工しましたが、建設市場における資材の高騰や納期長期化などの影響を受け、昇降機やビル設備関連品の新規受注の獲得に苦戦し、低調に推移しました。

フラレボ



三菱電機(株)製設備用
パッケージエアコン

Building World Technology
NEXCUBE



三菱電機(株)製
展望用エレベーター

エレクトロニクス

売上高

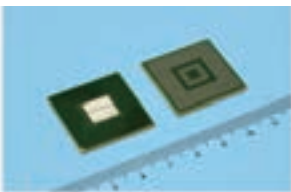
895億55百万円
(前期比 24.5%増)

営業利益

40億24百万円
(前期比 121.0%増)

売上高
構成比
70.5%

国内では、半導体不足や材料不足などサプライチェーンの混乱により、一部顧客の生産調整もありましたが、車載市場でのインフォテインメント機器向けSoC (System-on-Chip) やメモリ等の販売が好調に推移し、また産業機器市場についても半導体製造装置・工作機械向けアナログ半導体や受動部品等の販売が堅調に推移し、増収となりました。海外関係会社では、主に中国地域の産業機器関連向けアナログ半導体・パワー半導体の販売や北米地域の車載関連 (インフォテインメント機器) 用メモリの販売が堅調に推移したことにより、増収となりました。



ルネサス エレクトロニクス(株)製
車載情報端末向けSoC [R-Car M2]



三菱電機(株)製SiC
パワーモジュール

■ 統合報告書「RYODEN REPORT 2022」を発行

RYODEN REPORTは、様々なステークホルダーの皆様へ、当社の事業や価値創造ストーリー、また持続的な企業価値向上への取り組みなどを分かりやすくお伝えし、当社への理解をより一層深めていただくために非財務情報と財務情報を総合的に取りまとめたものです。

本年度は、「RYODENの価値創造ストーリー～100年企業を目指して～」と題し、当社の「環境・安心・安全」の価値を生み出すビジネスモデルへの進化と代理店・商社の枠を超えた“事業創出会社”としての長期持続的な価値創造・企業価値拡大のイメージを創立75周年特集としてご説明しています。

また、取締役社長 富澤克行のメッセージ、社外取締役 白田佳子氏のメッセージに加え、中期経営計画「ICHIGAN 2024」の進捗状況、TCFDに沿った情報開示など内容をより一層充実させました。

当社は今後も、統合報告書の改善・充実を図るとともに、適時・的確・公正な情報開示を行い、すべてのステークホルダーの皆様との建設的な対話を通じて企業価値のさらなる向上に努めてまいります。



当社ウェブサイトにて公開しています
<https://www.ryoden.co.jp/ir/library/annual/>



トップメッセージ



創立75周年特集



社外取締役メッセージ



■ 個人投資家説明会・動画配信のご案内

当社は、個人投資家の皆様を対象とした「個人投資家説明会」を随時開催しています。2022年9月、取締役社長 富澤克行がプレゼンテーションする説明会を実施いたしました。その模様は、オンデマンド配信していますので、ぜひご視聴ください。

<https://www.daiwair.co.jp/detail.cgi?code=8084>



四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

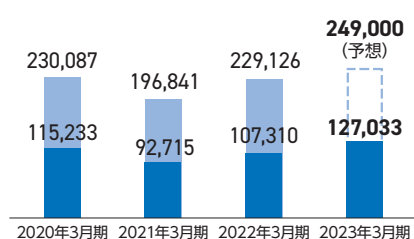
(百万円)

	当第2四半期連結 会計期間末	前連結会計 年度末
	(2022年9月30日現在)	(2022年3月31日現在)
流動資産	131,116	126,093
現金及び預金	8,771	11,587
受取手形、売掛金及び契約資産	54,685	51,474
電子記録債権	22,878	21,992
有価証券	265	52
商品及び製品	36,340	32,850
その他	8,204	8,163
貸倒引当金	△28	△27
固定資産	15,512	14,877
有形固定資産	5,481	3,764
無形固定資産	874	806
投資その他の資産	9,156	10,306
繰延資産	11	—
資産合計	146,640	140,970
流動負債	62,524	62,585
支払手形及び買掛金	39,340	40,117
電子記録債務	15,073	14,776
短期借入金	1,816	822
未払法人税等	1,619	1,633
その他	4,673	5,235
固定負債	5,244	3,618
長期借入金	1,800	—
退職給付に係る負債	2,648	2,818
その他	796	800
負債合計	67,768	66,204
株主資本	75,029	72,442
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,504	7,449
利益剰余金	57,932	55,458
自己株式	△741	△800
その他の包括利益累計額	3,744	2,145
新株予約権	129	178
非支配株主持分	△31	—
純資産合計	78,871	74,766
負債及び純資産合計	146,640	140,970

連結業績ハイライト ■第2四半期(累計) ■通期

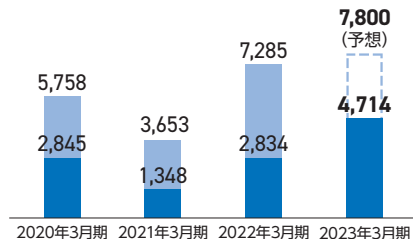
売上高

(百万円)



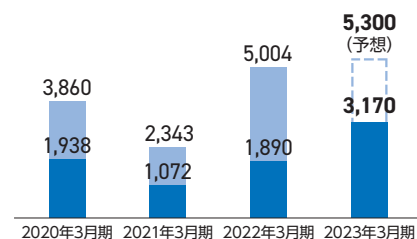
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(百万円)



四半期連結損益計算書

(百万円)

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	自 2021年4月1日 至 2021年9月30日
売上高	127,033	107,310
売上原価	112,551	95,292
売上総利益	14,481	12,017
販売費及び一般管理費	9,716	9,246
営業利益	4,765	2,771
営業外収益	193	243
営業外費用	244	181
経常利益	4,714	2,834
特別利益	1,538	—
特別損失	1,500	—
税金等調整前四半期純利益	4,752	2,834
法人税等	1,600	943
四半期純利益	3,152	1,890
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△18	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,170	1,890

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	自 2022年4月1日 至 2022年9月30日	自 2021年4月1日 至 2021年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,699	△1,453
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,331	△980
財務活動によるキャッシュ・フロー	742	△544
現金及び現金同等物に係る換算差額	532	227
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,755	△2,750
現金及び現金同等物の期首残高	11,577	21,120
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	629	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,451	18,369

会社の概要

(2022年9月30日現在)

商号	菱電商事株式会社 (Ryoden Corporation)
創立	1947年4月22日
資本金	103億3,429万8,875円
従業員数	連結1,303名(単体1,095名)

株式の状況

(2022年9月30日現在)

発行可能株式総数	56,550,000株
発行済株式の総数	22,824,977株 (うち自己株式 984,451株)
株主数	23,668名
大株主(上位10位)	

株主名	持株数(千株)
三菱電機株式会社	7,755
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,914
菱電商事従業員持株会	498
シチズン時計株式会社	414
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	398
SMBC日興証券株式会社	376
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	374
東京海上日動火災保険株式会社	326
BBH BOSTON FOR NOMURA JAPAN SMALLER CAPITALIZATION FUND 620065	255
光通信株式会社	217

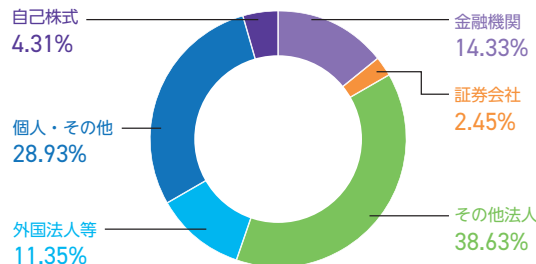
役員の状況

(2022年9月30日現在)

氏名	地位	担当及び重要な兼職の状況
富澤 克行 *	取締役社長	
北井 祥嗣 *	取締役 専務執行役員 指名報酬諮問委員会 委員	管理部門管掌、総務・人事・経理担当、 監理担当代行
小澤 高弘	取締役 常務執行役員	戦略部門管掌、環境・品質担当、 経営企画室長 兼 DX戦略推進室長
藤井 裕司	社外取締役 指名報酬諮問委員会 委員	(三菱電機株式会社 営業本部事業企画部長)
白田 佳子	社外取締役(独立) 指名報酬諮問委員会 委員	(東京国税局土地評価審議会会長) (東京国際大学商学部特命教授) (東洋大学グローバル・イノベーション学専攻客員教授)
室井 雅博	社外取締役(独立) 指名報酬諮問委員会 委員長	(農林中央金庫 監事) (戸田建設株式会社社外取締役)
トーマス・ ヴェッティ	社外取締役(独立) 指名報酬諮問委員会 委員	(アーキスト外国法共同事業法律事務所 東京経営パートナー) (独日法律家協会 日本事務局代表)
紀藤 礼一郎	常勤監査役	
平井出 浩志	常勤監査役	
鈴木 雅人	社外監査役	(弁護士(弁護士法人三宅法律事務所パートナー))
関口 典子	社外監査役	(関口典子公認会計士事務所所長) (東京応化工業株式会社社外取締役) (王子ホールディングス株式会社社外監査役)
中村 真敏	常務執行役員	事業部門管掌、FA・施設システム事業本部長
東 俊一	常務執行役員	デバイスシステム事業本部長
與五澤 一元	常務執行役員	中日本支社長
大庭 康	常務執行役員	西日本支社長

* を付した取締役は、代表取締役です。

株式所有比率グラフ



株式事務に関するご案内

配当金の口座振込の制度について

配当金のお受取りは、振込指定が便利です。

郵便局の窓口で
配当金をお受取りの場合

受け取り忘れのリスクや
郵便局へ行く手間がかかります。

配当金の振込指定の場合

ご指定の口座に振り込まれるため、配当金のお支払い開始日に安全かつ確実に配当金のお受け取りができます。

■ お手続きに関するお問合せ先

- ・証券会社に口座をお持ちの株主様は、お取引口座のある証券会社へお問い合わせください。
- ・特別口座に記録されている株主様は、三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-232-711(通話料無料)

特別口座からの振替のお手続き

特別口座に記録された株式は、単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増請求を除き、売買や譲渡等のお取引を行うことができません。特別口座に記録された株式の取引を行うためには、証券会社に口座を開設していただいたうえで、特別口座から証券会社の口座に振替を行っていただく必要があります。

特別口座から証券会社の口座への振替をご希望の株主様は、三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部へお問合せのうえ、お手続きをお願いします。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金受領 株主確定日	期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内1-4-5 TEL 0120-232-711 (通話料無料) <郵送先> 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子公告により行う。 公告掲載URL https://www.ryoden.co.jp	
公告方法	ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっていますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 市区町村から通知されたマイナンバーは、株式の税務関係の手続が必要となります。このため、株主様から、お取引の証券会社等へマイナンバーをお届いただく必要がございます。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。環境に配慮した植物油インキを使用しています。